

# 新学期でのインフルエンザ対策の徹底は

筑井 あけみ 議員



**Q** 国立感染症研究所では、全国約5000の医療機関からインフルエンザ患者の報告を受けている。8月3日から9日までの患者数は4600人。昨年の同時期は88人であり、流行状態である。各学校における、新学期からの対策は、

**A** 教育長 授業再開前の8月20日に、学校行事

**Q** への対応を通知した。家庭にも、子ども安全連絡網で予防の徹底を依頼し、態勢を整えた。

**A** 町長 平成6年に上板井地区、平成10年に板井地区でまちづくり研究会を設立したが、現在は中断している。板井地区では、平成17年12月から区画

**Q** 整理事業にかわるまちづくり交付金事業を実施している。今後は、第5次総合計画等で市街化区域の環境整備ができるよう位置づけしたい。

**A** 町長 個人町民税は、景気悪化の影響から、今後大幅な減収が懸念される。法人町民税についても同様である。都市計画税は当初予算の計上どおり推移

**Q** 異常気象による甚大な水害に対し、発生時の対策は万全か。また、万が一に備えたハザードマップが整備できるのか。

**A** 町長 上陽地区の浸水想定原因が分かるマップとなっている。地域防災計画等を随時見直し、災害に強い体制づくりを進めたい。



台風による大雨で増水した利根川

# 玉村町でも第3子から保育料の無料化を

関口 祝嘉 議員



**Q** 前橋市・高崎市では、第3子から保育料が無料になっている。玉村町でも無料にすべきではないか。

**A** 町長 次世代育成支援地域行動計画(後期計画)の策定に当たって「理想の子どもの数」に関するアンケートを実施した。結果は、3人が最も多く、就学前児

童の保護者44・5%、就学児童の保護者45・6%が回答している。

**Q** 無人ヘリによる農薬散布に対し補助金を出していることから、箱施用薬剤プリンスのみを使用している農家にも補助金を

出すべきである。低農薬であり、安全安心な米である。

**A** 町長 現在は、多くの農家の方が箱施用薬剤を使用している。農家の負担軽減を図り、町としての助成について検討していきたい。

ていきたい。校庭は狭くなるが、少年野球、サッカーは利用できる。体育館利用の児童には、スポーツ振興室が相談を受ける。

**Q** 上陽小学校耐震補強工事が着工となれば、校庭が使用できなくなるのでは。



工事中は、校庭等の利用が制限される上陽小学校

# 住民参加型町政の推進を

原 幹雄 議員



**Q** 第5次玉村町総合計画や下水道整備計画など、町の主要計画策定に当たっては、町民の英知を結集できるような、可能な限りの事前周知が必要と考えるが。

**A** 町長 事前に情報を与え、住民参加を図っていくことは大変重要なことと考えている。広報紙やホームページなどで策定状

況を随時知らせ、関心を高めていきたい。

**Q** 国民健康保険税の資産割は、担税力や固定資産税の平等負担という観点から、廃止を検討すべき時期に来ているのではないか。

**A** 町長 国民健康保険税の資産割は、全国で8割以上の自治体を取り入れている。しかし、都市部を中心に廃止する自治体も増えてきている。資産割の問題点として担税力や重

**Q** 25行政区の課題として、区費の未払いがある。さまざまな対応をしているが、行政は静観しているのか。

**A** 町長 区長会で検討していただくのがよいと思う。標準的な区の会計処理、予算・決算書の作成などについては、支援していきたい。

**Q** 県立女子大学が導入している「CALLシステム」を、教職員研修に利用したらどうか。

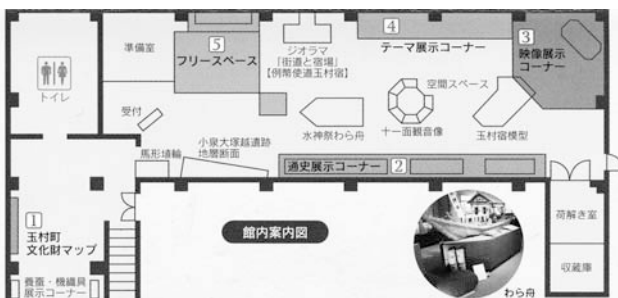
**A** 町長 区長会で検討している。標準的な区の会計処理、予算・決算書の作成などについては、支援していきたい。

**Q** 郷土の、自分たちの住んでいる地域の歴史教育はどのように行われているか。

**A** 町長 〃どこへ行く〃でも同じようなまちづくりから、まちや地域の記憶を大切にしたい。まちづくりが21世紀のまちづくりのキーワードになってき

ている。

町では、歴史資料館を活用した啓蒙活動、小学校3・4年生を対象とした社会科副読本の作成、住民と協働した活動など、郷土の歴史と文化を知り、誇りと愛着が持てるまちづくりに取り組んでいる。



町立歴史資料館見取り図  
(玉村町文化センター内)

# 町立公民館運営、企画・審議の体制を変えるべきでは

中里 知恵子 議員



**Q** 生涯学習推進員連絡会へのアプローチは、教育長 年度当初の総会で、推進員の業務、生涯学習の意義、生涯学習を推進するための基本的な考え方を説明している。

**Q** 社会教育委員会では、その後、公民館運営に関して、どう取り組んでいるのか。

**A** 教育長 社会教育委員が計画立案した事業の中に、公民館事業も含まれている。

**Q** 「生涯学習課の事務内容がよく分からない」という住民の声があるが。

**A** 教育長 文化センターの入り口に案内板などを設置し、来館者が戸惑わないよう対処している。また、「にじきのつうしん」のわかりやすい紙面づくりに努め、情報提供を行っている。

**Q** 25行政区の課題として、区費の未払いがある。さまざまな対応をしているが、行政は静観しているのか。

**A** 町長 区長会で検討していただくのがよいと思う。標準的な区の会計処理、予算・決算書の作成などについては、支援していきたい。

**Q** 県立女子大学が導入している「CALLシステム」を、教職員研修に利用したらどうか。

**A** 町長 区長会で検討している。標準的な区の会計処理、予算・決算書の作成などについては、支援していきたい。

**Q** 郷土の、自分たちの住んでいる地域の歴史教育はどのように行われているか。

**A** 町長 〃どこへ行く〃でも同じようなまちづくりから、まちや地域の記憶を大切にしたい。まちづくりが21世紀のまちづくりのキーワードになってき

ている。

町では、歴史資料館を活用した啓蒙活動、小学校3・4年生を対象とした社会科副読本の作成、住民と協働した活動など、郷土の歴史と文化を知り、誇りと愛着が持てるまちづくりに取り組んでいる。



放課後の部活動でパソコンを利用する、玉村中学校文芸部の生徒たち